



滋賀県平和祈念館

2026年度

後期

平和教養講座

誰もが平和について考えるきっかけや考えを深める機会を提供する場として平和教養講座を行っています。原則として、毎月第三土曜日に多方面から講師をお招きし、様々な視点から平和について考えることができる内容や当館企画展示に関連する内容についてご講義いただきます。

開講日時		演 題	内 容	講 師	
10月	17日 (土)	戦争と看護の発展 ー衛生兵の想いを紡ぐー		鈴木 紀子 氏 (元天理大学医療学部特任教授)	企画展示関連講演
	13:30 から	日本における負傷兵を治療するための病院(野戦病院・養生局)の設立は、戊辰戦争からはじまります。明治政府が近代化を目指す中で、国家によって看護教育の基盤ができた歴史があります。その歴史を紹介し、振り返るとともに、第二次世界大戦で衛生兵であった方の回想から、未来に何を紡ぐのか考えてみます。			
11月	21日 (土)	日露戦争従軍看護婦 ー出雲やすをの青春ー		出雲 一郎 氏 (出雲やすを顕彰会)	企画展示関連講演
	13:30 から	戦時中、従軍看護婦は「戦う女性」として女性の憧れの職業でした。日露戦争の最中、同じ憧れをもって看護婦の職に就いた一人の女性ー出雲やすをーがいます。彼女は、東京から満州へ渡り、各地を巡りました。その後、結婚をし、第二次世界大戦の終戦までの期間、満州で過ごしました。時代の波の中で彼女が辿った看護婦人生から、当時の女性の精神と生き方について考えてみます。			
12月	12日 (土)	第39回企画展示で紹介した 従軍看護婦の戦中・戦後		日高 昭子 氏 (当館学芸員)	企画展示関連講演
	13:30 から	滋賀にゆかりのある女性の中には、戦時中に「従軍看護婦」として軍と共に中国、フィリピン、ラバウルなどの戦地での任務を経験された方がおられます。それぞれの戦争体験や当時の時代背景についてお話しします。			
1月	16日 (土)	滋賀県平和祈念館の役割と魅力 ー地域の記憶を受け取り、つなぎ、 新たな声呼び起こすミュージアムー		村本 邦子 氏 (立命館大学大学院人間科学研究科実践人間科学領域教授)	
	13:30 から	平和ミュージアムの研究を行っていますが、滋賀県平和祈念館は、地域の人びとから戦争体験の語りや資料を受け取り、それらを地域の暮らしの記憶として次世代へ伝え、その実践がまた新たな地域の記憶を呼び起こしています。地域の声が響き合いながら受け継がれていく場として、平和祈念館が果たしている役割と魅力についてお話しします。			
2月	20日 (土)	オランダの戦争博物館		あんぞこ 庵造 由香 氏 (立命館大学文学部東アジア研究学域教授)	
	13:30 から	オランダには現在、20ヶ所を超える戦争博物館があります。第二次世界大戦中にナチスドイツの侵攻を受け、占領されていたオランダには、軍事、戦争、平和、抵抗など、さまざまなテーマや形態の戦争博物館が建てられました。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた博物館も多く見られます。このように多様なオランダの戦争博物館の展示を写真を使ってご紹介します。			

●参加方法 会場(当館2階研修室)へお越しください(事前申込不要)。

予約
不要

参加
無料

※定員：80人
※気象警報が発令された場合等、やむを得ず講座を中止する場合があります。

●問合せ先

〒527-0157 東近江市下中野町431

滋賀県平和祈念館 TEL:0749-46-0300



滋賀県平和祈念館ホームページ

